

戦没者のめい福を祈り

春季戦没者追悼式



戦没者をしのび献花する遺族の皆さん

笠松町春季戦没者追悼式が4月26日、笠松・下羽栗・松枝の各地域の会場でしめやかに行われました。

式には戦没者の遺族の皆さんや関係者の方々が多数参列され、広江町長が「戦後に生まれた世代が大半を占める今、ご遺族の方々の貴重な戦争体験を風化させることなく、次世代に伝えることが責務であり、笠松町が持つ歴史、文化、自然、人が共生した輝くまちづくりに全力を傾注し努力してまいります」と式辞を述べました。

続いて岐阜県知事代理、田中県議会議員、伊藤町議会議長の追悼の言葉のあと、参列者が献花を行い、戦没者のめい福を祈り、平和への誓いを新たにしました。

かさまつ文化・芸術・学習の成果を一堂に 「和」をテーマに文化フェスタ

5月14日・15日、中央公民館で「和」をテーマに笠松町文化協会主催による“かさまつ文化フェスタ2011”が盛大に開催されました。

かさまつ文化フェスタは、町文化協会に登録しているクラブやサークルの会員が日ごろの活動の成果を町民に披露する場です。

作品展示部門では、油絵・水彩画・水墨画・写真・書・短歌・俳句・川柳・生け花などの作品208点を展示。

ステージ発表部門では、日本舞踊・民謡・フラダンス・詩吟・コーラスなどの22団体が発表。

観覧された方々は、展示作品や生き生きとしたステージ発表の素晴らしい出来栄えに、感心していました。



「和」をテーマにした展示作品を鑑賞する参観者

迅速な消火活動は日ごろの訓練から

町消防団



規律訓練を行う消防団員

5月14日、笠松町民運動場で町消防団が、羽島郡広域連合消防本部職員の指導を受けて訓練を行いました。

当日は、人員服装点検・分列行進など消防団員としての規律を習得する規律訓練が行われました。

日ごろ仕事を持っている消防団員の訓練は、仕事を終えた夜間や休日に行われていますが、「わがまちを災害から守る」使命感が仕事の疲れを吹き飛ばし、火災現場での機敏な行動、迅速な消火活動を行うため団員ら真剣な面持ちで訓練に励んでいました。